

誤納品クレーム対策と同時に 業務効率化も実現へ

お客様工場では納入先の増加に伴う誤納品が問題となっていました。そこでシステム化による対策を検討されましたが、自社の出荷業務の特異性から市販のパッケージシステム導入では対策が困難な状況でした。

お客様のプロフィール

会社名
給食製造工場様

従業員数
約350人

業種
米穀、炊飯、冷凍米飯事業

所在地
国内 5 工場

食品飲料

工場/出先

導入前の課題

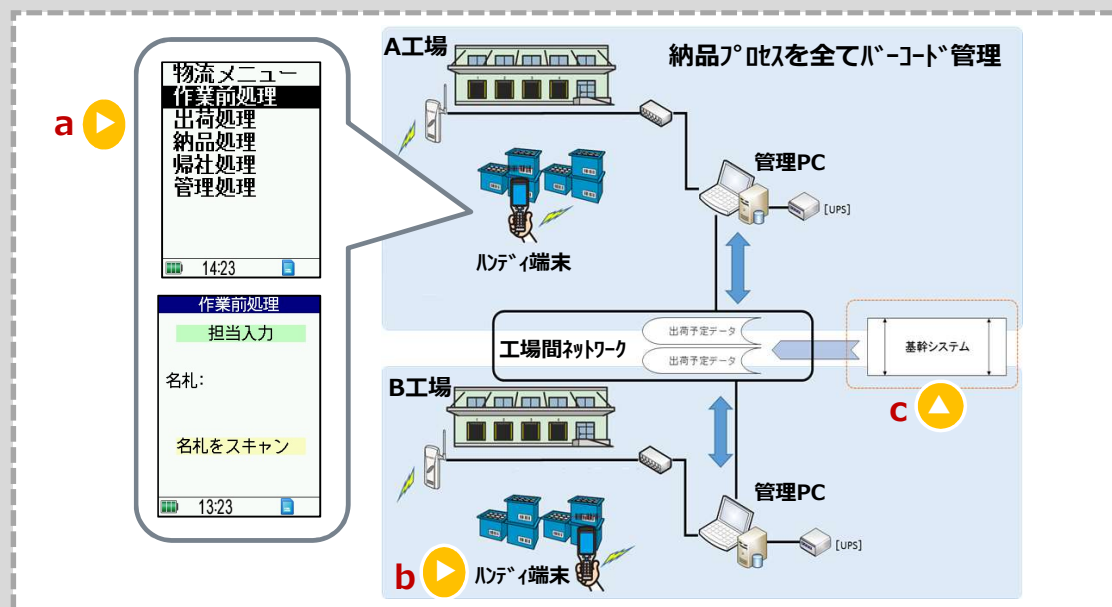
- 同じ納入先に対して出荷工場が日々異なる
- 当日に決定する臨時出荷にも対応している
- 同業他者の荷物も共同配送している

選んだ理由

- 自社の固有業務に対応した自社専用のシステム
- ハンディ端末を活用した人のミスを排除するシステム
- 本社の基幹システム担当ベンダーとの協調開発

導入の効果

- 正確な納品により取引先クレームが解消
- 人のミス排除で作り直し等のムダな仕事減少
- 荷箱のトレースも可能となり荷箱紛失コストも削減



- 人のミスに起因した誤納品の根絶
- 従業員のムダな仕事排除

ポイント

- a ▶ PCアプリ開発と併せてハンディ端末アプリ開発にも対応
- b ▶ 工場にマッチしたハンディ端末機種選定と安価調達
- c ▶ 他社が開発した基幹システム解析によるシステム連携

導入費用・納期

- ハンディ端末(付属品含む)100台購入費 1,400万円
- システム開発費(工場導入費含む) 500万円
- 納期：約3カ月